

会員事業所の皆さまへ

## ～輸送繁忙期における交通死亡事故の防止について～

北海道全体では、交通事故死者数が僅かに減少しているなか、安全運転管理者選任事業所に係る交通死亡事故は、9月21日現在で昨年末と同数の19件19人に及び、前年同期と比較しても3件3名の増加と、極めて憂慮すべき事態となっております。

19件19人の死亡事故をみますと、

車両相互又は単独による事故が7件

車両と歩行者の事故が6件（うち5件が薄暮・夜間）

自動二輪車単独による事故が4件、右直事故が1件

車両と自転車による事故が1件

となっております。速度の出し過ぎなど危険な運転によるもののほか、油断やちょっとした不注意による重大な事故が続いております。

これから輸送繁忙期を迎え交通量が増加し、過労運転やスピードの出し過ぎなどによる交通事故、更に、日没時間が早くなり薄暮・夜間における歩行者等被害の交通事故の発生が懸念されるところであります。

各事業所等で車を運転される皆さんは、

- 時間にゆとりのある運行計画を立て過労・居眠り運転による事故を防止する
- スピードダウンを励行し、安全確認を怠らない
- ライトの早め点灯とハイビームの活用
- 全席でシートベルトを着用する（運転手はベルト着用を確認した後に発進）
- 飲酒運転の根絶

など、業務中の運転はもとよりマイカーの運転時にも安全運転行動を確実に実践していただきますようお願い申し上げます。

交通事故は決して他人事ではありません。皆さん一人一人の交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が事故防止につながります。皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

令和4年9月22日

一般社団法人 北海道安全運転管理者協会 会長 中田 隆博